

第35回 神奈川母性衛生学会学術集会 開催及び一般演題募集のお知らせ

皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

来たる2022年2月5日（土）に、第35回神奈川母性衛生学会学術集会をオンライン開催することになりました。つきましては、当日の開催概要および一般演題の募集要項をご案内申し上げます。

今学術集会では、産婦人科専門医研修および助産実践能力習熟段階（CLOCMiP®）レベルⅢ認証申請に活用できる研修となる講演を予定しております。また一般演題の中から優秀演題賞を選出いたします。

多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

第35回学術集会会長 中村 幸代

第35回神奈川母性衛生学会学術集会 開催概要

日 時：2022年2月5日（土）

方 法：オンライン開催

テ ー マ：母子とともにあるプロフェッショナルリズムの発展

主 催：神奈川母性衛生学会理事長 宮城 悦子

（横浜市立大学医学部 産婦人科教室 主任教授）

第35回学術集会会長 中村 幸代

（横浜市立大学医学部看護学科 母性看護学 教授）

一般演題募集要項

- 【発表内容】
- ・女性の各々のライフステージにおける健康及び疾患に関するもの
 - ・母性及び母子保健に関するもの
- (倫理面には十分配慮してください)

【発表形式】

口演による発表（発表一題5分、質疑応答2分：計7分）のみになります。

学術集会当日はLIVEにて動画を配信し、参加者に視聴していただいた後、質疑応答を行います。各セッションに座長を配置し、参加者から質問を受け付けます。

演者の皆様は、事前に研究発表内容に関する音声入り動画を作成し、ご提出いただきます。また当日は、セッション開始前に演者の皆様にZoomにご入室いただき、各演題の動画視聴後（操作は学術集会が行います）、LIVEにて参加者との質疑応答をしていただきます。なお、学会1週間前頃にZoomの接続確認テストを学会運営事務局と行う予定です。

【抄録作成上の留意事項】

- ・記載形式：演題名（50字以内）、抄録（700字～800字）、演者・共同研究者は10名まで
- ・登録いただいた抄録はそのまま掲載されます。誤字・脱字・変換ミスを含め、校正は行いませんので、提出前に必ず内容に誤りがないかを十分にご確認ください。

【演題登録方法】

演題は神奈川母性衛生学会ホームページからのみ登録可能です。あらかじめMS-Word等でご準備いただいた上で申込フォームに直接ご入力ください。なお、作成途中での一時保存はできません。

申込フォーム URL：<https://vb.wufoo.com/forms/wrt3dsr11fp88n/>

【登録締切り】

2021年11月20日(土)

【演題採択の通知】

演題の査読結果は11月下旬までにE-mailにてご連絡いたします。場合によっては修正をお願いすることがあります。また採択決定後、発表スライド作成要項をE-mailにてご連絡いたします。なお作成要項が12月末日までにお手元に届かない時は、事務局までお問い合わせ下さい。

【優秀演題賞について】

演題登録時の自己応募方式とします。選考方式は2段階により選考し、第一次選考は演題登録時の抄録により採点いたします。第二次選考は、第一次の上位5題程度を集めて発表セッションを設け、当日の発表について採点します。

【お問い合わせ先】

第35回 神奈川母性衛生学会学術集会事務局

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦3-9

横浜市立大学医学部看護学科 母性看護学領域内

TEL/FAX:045-787-2548

E-mail: kanagawabosei2022@gmail.com